

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策
<p>(1) 未来の主役づくり</p>	<p>ア 地域全体で子育てを支えるとともに、切れ目のない質の高い教育を通して、未来を担う子どもの「生きる力」を育みます。</p>	<p>(ア) 児童・生徒が将来の夢や目標を持っている</p>	<p>【子どもの成長のための環境整備】 ・子どもの権利を大切にするまちづくり ・一人ひとりの豊かな心と健康、可能性を伸ばす学校教育の充実</p> <p>【子ども達への支援充実】 ・多様なニーズに応じた教育、学びのセーフティネットの充実</p>	<p>2-10-1地域で自分らしく安心して暮らすための支援の充実 【障害児支援】 2-10-2誰もが生きがいをもてる社会の推進 【社会参加、自立した生活の実現に向けたサポート】</p> <p>3-13-1子育て支援【子どもにやさしいまち、保幼小連携】 3-15-1確かな学力を育む教育の推進【保幼小連携】</p> <p>3-13-2子ども・若者の居場所づくり【児童・生徒の居場所づくり】</p> <p>3-13-3配慮が必要な子ども・若者への支援【児童虐待、障害児、医療的ケア児、子どもの貧困】</p> <p><再掲> 3-15-1確かな学力を育む教育の推進【アクティブラーニングの推進】</p> <p>2-11-1健康寿命延伸のための健康づくりの推進 3-15-2豊かな心を育む教育の推進【食育、部活動、校外活動、地域と学校の協働】</p> <p>3-15-3子ども一人ひとりを大切にする支援の充実【特別支援教育、いじめ対策】</p>
		<p>(イ) 市民が安心して子育てができる</p>	<p>【子育てしやすい環境整備】 ・多様な教育・保育の提供 ・「住みやすく、働きやすい」環境の整備</p> <p>【妊娠・出産・子育て支援の充実】 ・八王子版ネウボラの推進</p>	<p>3-14-1子育て支援【地域による子育て支援、ネウボラ、子育て家庭への支援】</p> <p>2-11-3母子保健の充実 【ネウボラ 妊娠前、妊娠期】</p> <p>5-29-3誰もが輝く働き方の推進【ワークライフバランス】</p>
		<p>(ウ) 市民が地域の子どもやその保護者とともに 行う活動に参加している</p>	<p>【学校・家庭・地域の連携による体験機会の創出】 ・多世代交流機会の創出 ・家庭・地域の力を活かした教育の推進</p>	<p>1-1-3集う・つながる居場所づくり 【地域における居場所づくり、イベント】 3-16-1家庭・地域の力を活かした教育の推進【地域住民等による教育活動】</p>

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(1) 未来の主役づくり</p>	<p>イ 多様な学びの機会を創出し、誰もが働きやすく、社会参加できる環境を整えることで、一人ひとりの「自己実現力」を育みます。</p>	<p>(ア) 市民の誰もが学び、学んだことを活かせる環境が整っている</p>	<p>【八王子の強みを活かした学びの場の充実】 ・大学を起点とした学ぶ機会の創出 ・リカレント教育の充実</p>	<p>1-2-2学園都市の特性を活かした協働・共創 3-18-2リカレント教育の充実</p>
		<p>(イ) 女性、高齢者、外国人をはじめ、市民の誰もが活躍できる環境が整っている</p>	<p>【活躍につながるきっかけづくり】 ・ライフステージに応じた「人とひと、人とモノ・情報」の出会いの創出</p> <p>【学び・活用の循環づくり】 ・学び・働き、地域に還元できる仕組みづくり</p>	<p><再掲> 2-10-2誰もが生きがいをもてる社会の推進【障害者の社会参加の促進、高齢者活躍、働きやすい環境づくり、就労機会の拡大】 2-7-3男女共同参画社会の実現【働きやすい環境づくり、就労機会の拡大】 5-29-1働く機会の創出【就労機会の拡大】</p> <p>3-19-1ライフステージ等に応じたスポーツ・レクリエーションの推進 3-19-2スポーツ・レクリエーション環境の整備と確保</p>
		<p>(ア) 市民が健康づくりを行っている</p>	<p>【健康につながる取組や環境整備】 ・すべての世代を対象とした「歩く、話す、笑う、噛む」健康づくり ・健康寿命の延伸、健康格差の縮小に向けたナッジ理論※（「知らず知らずのうちに人々に行動を促すしくみ」）を活用した健康づくり ・生きがいづくり</p> <p>【健康づくりの能力向上支援】 ・科学的根拠に基づくセルフケア意識の醸成とセルフケア能力の向上 ・ヘルスプロモーション活動による健康づくりの推進</p>	<p>2-9-1地域で支えあえるつながりづくり 【子どもから高齢者】 <再掲> 2-10-2誰もが生きがいをもてる社会の推進【障害者、支援を必要とする高齢者とその家族】</p> <p><再掲> 2-11-1健康寿命延伸のための健康づくりの推進【データヘルスの推進、幼少期からのセルフケア能力の養成】 <再掲> 3-19-1ライフステージ等に応じたスポーツ・レクリエーションの推進 4-22-3主要駅周辺の整備 【歩いて楽しめるまちづくり】 4-23-1ユニバーサルデザインのまちの実現【自然と健康にいられる環境づくり】</p>
	<p>ウ 自然に健康でいられる環境と地域医療体制を整備するとともに、セルフケア能力を高める支援を通して、一人ひとりの健康を育みます。</p>	<p>(イ) 市民が安心して医療を受けられている</p>	<p>【医療体制の強化・充実】 ・相談体制の充実及び救急医療体制の強化 ・医療・看護・介護の連携推進 ・災害時、健康危機発生時の医療体制の充実</p>	<p>2-12-1地域医療体制の充実</p>
		<p>【地域包括ケアシステムの視点からの移動確保】 ・誰もが質の高い医療を受けられる環境整備</p>	<p>4-27-2持続可能な地域公共交通の実現 【地域包括ケアシステムの視点からの移動サービス】</p>	

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(2) 未来へのつながりづくり</p>	<p>ア 多様かつ複合化した地域課題の解決に向け、市民力・地域力をもとにして、地域が主体的に支えあえる「地域づくり」を推進します。</p>	<p>(ア) 地域に人とひととのつながりがある</p>	<p>【つながりを生む場・機会の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における「市民と市民」「市民と行政」のつながりを生む場の創出 ・孤独・孤立対策 ・リアル・オンライン双方からの居場所の創出 	<p>1-1-1地域づくりの推進【地域づくりの推進】 <再掲> 2-9-1地域で支えあえるつながりづくり【重層的支援体制の充実】</p>
		<p>1-1-2地域コミュニティ活動の支援【地域を支える人材の育成】</p>		
		<p><再掲> 1-1-3集う・つながる居場所づくり【交流のきっかけ・場づくり（居場所づくり）】</p>		
		<p>2-9-2地域で支えあう人材の育成・支援 【民生委員・児童委員、NPO、事業者など地域福祉の担い手の連携】</p>		
		<p><再掲> 3-14-1子育て支援【子ども食堂、地域人材の育成】</p>		
		<p><再掲> 3-16-1家庭・地域の力を活かした教育の推進【地域住民等による教育活動】</p>		
		<p>3-16-2学校を核とした地域力の向上【世代を超えた交流による地域活動】</p>		
		<p>3-18-3学びを活かしたまちづくり【学びの成果を地域活動に活かすきっかけづくり】</p>		
		<p>4-22-4良好な都市景観の推進【地区まちづくり】</p>		
		<p>4-23-3快適な住環境の整備と確保【空き家対策、空き家の活用】</p>		
<p><再掲> 4-27-2持続可能な地域公共交通の実現【地域の実情にあった公共交通の検討】</p>				
<p>5-30-5地域課題・社会課題解決型の産業の推進【SB/CBと行政の協働・共創】</p>				

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策	
(2) 未来へのつながりづくり	イ 日本遺産をきっかけとして、桑都文化を磨き上げ、地域活動や地域の産業・経済の活性化を図るほか、豊富な資源を活用した地域主体の観光まちづくりを推進します。	(ア) 市民が日本遺産や歴史文化など地域資源を活用した地域主体の活動に参加している	【地域資源の理解・浸透・発掘】 ・日本遺産の「29の構成文化財」を核とした地域活性化 【地域特性を活かしたまちづくり】 ・地域ブランディングとシティプロモーションの連携推進	<再掲> 1-1-2地域コミュニティ活動の支援【地域を支える人材の育成】 3-20-2八王子の魅力を高める文化芸術の振興 3-21-2歴史文化の魅力発信と活用【日本遺産の活用・発信】 5-31-3多彩な地域資源を活かした観光まちづくり【観光資源の洗練化、地域資源の発掘】 5-31-4MICEの推進【エキスカーションの開催、ユニークベニュー※の開発・活用】 ※歴史的建造物や公的空間等で、会議・レセプションを開催することで特別感や地域特性を演出できる会場。	
		(イ) 市民が「自分のまちの魅力」を、家族・友人・知人におすすめしている			
		(ア) 市内企業がイノベーションを実現している	【イノベーション創出に向けた人づくり・組織づくり】 ・人材育成、知識獲得のための機会の創出 ・従業員定着化の促進 【イノベーション創出に向けた基盤整備】 ・イノベーション創出基盤の構築 ・サイバーシルクロード、大学コンソーシアム八王子、行政による共創の推進	<再掲> 1-2-2学園都市の特性を活かした協働・共創【産学公等連携プラットフォームの整備】 5-30-1共創によるイノベーションの創出 【産学公等連携プラットフォームの整備、産業イノベーションの創出】	
	ウ 豊かな産業資源の優位性や学園都市としての知の集積を活かし、産学官民連携で革新的なイノベーションによる価値創造を目指します。		(イ) 市内事業者の付加価値率（額）が高まっている	【新たな価値創出に向けた支援充実】 ・生産性の向上に向けたDX導入の促進 ・企業価値を高めるカーボンニュートラルに向けた取組の促進	<再掲> 3-18-2リカレント教育の充実 5-29-2産業を支える人材の確保と育成 5-30-2多摩産業交流センターを活用した産業振興

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(3) 未来に続く都市づくり</p>	<p>ア 自助・互助・共助の連携強化を図るとともに、自然や先端技術を活用し、災害の脅威から市民の命を守る強靱なまちづくりを推進します。</p>	<p>(ア) 地域に人とひととのつながりがある</p>	<p>【自助・互助・共助・公助の連携強化】 ・地域における「市民と市民」「市民と行政」のつながりを生む場の創出 ・共助による避難行動要支援者の安全確保</p>	<p><再掲> 1-1-1地域づくりの推進 【自助を支える共助体制】</p> <p><再掲> 3-16-2学校を核とした地域力の向上【防災教育】</p> <p>4-24-2災害に対する備え【地域防災力の強化、家庭における“備え”の実践】</p>
		<p>(イ) 災害に強いまちとなっている</p>	<p>【自然や先端技術を活用した公助による対策の推進】 ・ドローン、デジタル技術など先端テクノロジーを活用した防災・減災推進 ・大規模自然災害等に備える強靱な地域づくり</p>	<p>4-24-3防災情報の迅速・確実な提供【防災情報伝達の強化、災害予知システム等の先端技術の導入】</p> <p>4-25-2連携体制の強化【避難行動要支援者の安全確保、共助体制の充実、関係機関との連携】</p> <p>4-24-1防災機能の向上【建築物の耐震化、グリーンインフラの活用推進、流域治水の推進】</p>
				<p>5-32-2林業の振興 【森林再生からの防災、減災、森林循環の強化】</p>
				<p>6-36-1みどりの保全と活用 【森林再生からの防災、減災、森林循環の強化】</p>
				<p>1-6-3リスクマネジメントの強化 【冗長性あるまちづくり】</p>
				<p>2-11-4健康危機管理体制の強化 【感染症からの危機管理】</p>

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(3) 未来に続く都市づくり</p>	<p>イ にぎわいと活力を生み出すため、新産業分野の事業創出や既存産業への支援を行うほか、公共交通の充実とともにウォーカブルなまちづくりを推進します。</p>	<p>(ア) 市内開業率が高まっている</p>	<p>【産業振興に向けた連携強化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業家応援プロジェクト八王子連携ネットワークの活用 ・スタートアップ企業と大学や他企業との協働・共創の促進 ・学校現場における起業家との交流づくり、疑似体験機会の創出 	<p>5-30-4スタートアップの推進</p>
		<p>(イ) 市内への観光客数が増加している</p>	<p>【公共交通の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動手段の「組合せ」を起点とした「人とひと、人とモノ及び人と情報」の出会いの創出 	<p><再掲> 5-31-4MICEの推進</p>
		<p>(ウ) 市内の交通利便性が高まっている</p>	<p>【ウォーカブルなまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地等まちの回遊性の向上 ・歩きやすい、賑わい溢れる歩道空間の整備、活用 	<p>5-28-1中小企業の経営基盤の強化</p>
		<p>(エ) 居心地がよく歩きたくなるまちとなっている</p>		<p>4-22-2地域特性に沿った拠点づくり【ウォーカブルなまちづくり】</p>
				<p><再掲> 4-22-3主要駅周辺の整備【ウォーカブルなまちづくり】</p>
				<p>4-27-1多様な移動手段の確保</p>
				<p><再掲> 4-27-2持続可能な地域公共交通の実現</p>
		<p><再掲> 3-13-2子ども・若者の居場所づくり</p>		

重点テーマ・取組方針に基づく施策展開（重点化に当たっての考え方）

重点テーマ	取組方針	目指す姿	方向性	《参考（調整中）》細施策
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(3) 未来に続く都市づくり</p>	<p>ウ 自然環境と都市機能が調和した都市の実現に向け、再生可能エネルギーの普及促進など持続力を生み出す取組を推進します。</p>	<p>(ア) 市内の温室効果ガスが削減されている</p>	<p>【温室効果ガスの排出削減対策】 ・電力をへらす、つくる、ためる<HTT>取組の強化、加速 ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)と廃棄物の適正処理の徹底</p> <p>【温室効果ガスの吸収源対策】 ・100年先を見据えたみどりづくり</p>	<p><再掲> 3-15-2豊かな心を育む教育の推進【食育・地産地消】</p> <p>4-22-1計画的なまちづくり【集約型都市づくり】</p> <p><再掲> 4-27-1多様な移動手段の確保【都市全体のエネルギーの効率化、移動エネルギーの削減】</p> <p>6-34-1CO2排出量の削減【省エネルギー】</p> <p>6-34-2再生可能エネルギーの普及促進【公共施設への再生可能エネルギー設備設置促進】</p> <p>6-35-1ごみの発生抑制と資源化の推進【ごみの減量・資源化の推進、3Rの推進】</p> <p>6-35-2廃棄物処理の最適化【資源化の推進】</p>
		<p>(イ) 市民が生物多様性や豊かな生活環境の保全のために行動している</p>	<p>【生物多様性の保全】 ・人と自然と生き物のつながりの創出</p>	<p><再掲> 6-36-1みどりの保全と活用【みどりの保全・活用、森林循環の強化】</p> <p>6-36-3人と多種多様な生き物との共生【健全な生態系の保全】</p> <p>6-33-1環境教育・環境学習の推進【環境教育・環境学習の推進】</p>